

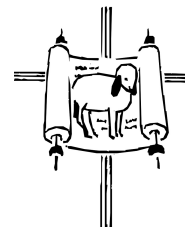
聖書箇所:マタイの福音書26章57-68節
「十字架のことば」

【1】 暗闇の中で

- ・夜中の裁判
 - 目的は「イエスを死刑にするため」(26:59)
 - 異例の裁判
 - 夜中になされた尋問
 - イエスの弁護人が不在
 - イエスを告訴するための証言の一貫性のなさ
 - その場でなされた死刑宣告

【2】 最高法院

- ・最高法院
 - 立法・行政・司法上の権限委託されたユダヤの自治機関
 - 民の長老や律法学者など 71 名の議員で構成
 - 礼儀正しい常識人、教育者、民のよき相談相手
- ・疑問：彼らは特別に冷酷無情であったのか？
- ・私たちとの共通点
 - 心の中に潜む偽善や闇に気付けない姿
 - 自分は正しい道を歩いていると考え生きる姿



【3】 十字架のことば

- ・聖書の教える「人間」の現実 (JECA 信仰告白第 4 条)
 - 「…生まれながら罪の性質を持っており、神の御怒りのもとにある」
- ・相手の反応を恐れずに罪の問題を指摘したイエス(マタイ 15:1-20)
 - ユダヤ人の歴史、希望、民族アイデンティティー、誇りである「神殿」でさえ、神の民の心のかたくなさの結果、崩壊すると(マタイ 23:38,24)
- ・イエスを受け入れる者と拒絶する者
 - 自分ではどうすることもできない「罪」に気がついた者は、イエスに罪の赦しを願い悔い改めへ。罪人を招く神の愛に生きる者へ
 - 自分を正しいとする者は、「罪」を指摘するイエスに心を閉ざす。罪人を招く神の愛につまずく(参照 15:1-2)
- ・「神の子キリスト」を裁いたカヤパ
 - 最高法院のメンバーは、神を冒瀆するイエスを裁いていると考えた
 - 彼らが「神の子キリスト」を冒瀆していた
 - 「あなたがたは今から後に、人の子が力ある方の右の座に着き、そして天の雲とともに来るのを見ることとなります」(26:64b)

▷あなたにとって十字架につけられたキリストはどのようなお方でしょうか？